

第4分野 香り高い地域文化と心豊かな人を育むまち

基本方針4

生涯学習の充実を図り地域を担う人材育成の機会を広げます

事業年度	令和6年度
責任部長	教育次長
責任課長	社会教育課長
責任課	社会教育課
主管課・関係課	社会教育課、学校教育課

■施策の概要

施策1: 公民館活動の充実

【主管課: 教育委員会事務局 社会教育課】

地域住民が生涯学び続けるための機会と地域住民が集う場の提供を目的として、公民館講座の実施や各種イベントを開催するとともに、サークル活動を支援します。また、それぞれの地区公民館が地域の自然や文化、人材を活用した特色ある活動や交流を進め、地域の活性化を図るとともに、地域コミュニティづくりを支援します。

施策2: 生涯学習の拡充

【主管課: 教育委員会事務局 社会教育課】

少子高齢化、人々のライフスタイルや価値観が多様化する社会において、子どもから大人まで、その発達段階やニーズに応じた学習機会の充実が必要です。そのため、関係機関と連携し様々な生涯学習の場を提供するとともに、市民による自主的な学習活動の支援、講師などの人材発掘を行います。また、学ぶことを通じて深めた知識や高めた技能を地域づくりに活かします。

施策3: 読書活動の推進

【主管課: 教育委員会事務局 社会教育課】

生活を切り拓く力を育むための「主体的・対話的で深い学び」を目指して、家庭や学校等との連携により、「家読(うちどく)」を中心として子どもの読書活動の活性化を図ります。また、7館が連携したきめ細やかなサービスにより、市民が読書に親しみ図書に触れることのできる機会の充実を図ります。

■関連指標の動向

指標名	単位	管理種別	望ましい方向	関連施策	現状値	各年度の目標値(上段)					評価年度の達成率
					(R1)	各年度の実績値(下段)					
						R3	R4	R5	R6	R7	
▶ 公民館活動の参加者数	人	ストック	↗	施策1	27,621	28,400 12,395	28,800 20,170	29,200 24,193	29,600 24,943	30,000	84.3%
▶ 生涯学習講座の参加者数	人	ストック	↗	施策2	4,047	4,100 2,657	4,200 3,536	4,300 3,222	4,400 5,463	4,500	124.2%
▶ 「読書が好き」という中学生の割合(子どもの読書環境アンケート)	%	フロー	↗	施策3	69.5	70.0 70.5	70.0 74.3	70.0 63.1	71.0 67.6	71.0	95.2%

■決算データ及び構成事務事業の実施状況

施策名	R5決算額(千円)	R6決算額(千円)	構成事務事業の実施状況(R6)					
			a	b	c	d	-	小計
1 公民館活動の充実	58,859	63,593	0	2	0	0	0	2
2 生涯学習の拡充	47,663	44,523	0	3	0	0	0	3
3 読書活動の推進	12,829	12,903	0	2	0	0	0	2
小計	119,351	121,019	0	7	0	0	0	7

a: 順調に実施されており、成果が表れている事務事業

b: 概ね順調に実施されており、一定の成果が表れている事務事業

c: 概ね順調に実施されているものの、目指す成果が表れていない事務事業

d: 実施状況及び目指す成果ともに停滞している事務事業

■基本方針に係る総括評価(所見)

【責任部長: 教育次長】

市民の学びの場、集いの場の提供として、公民館等でのイベントや生涯学習講座、読書活動を推進している。今後も創意工夫をしながら、学ぶ機会の提供を進める必要がある。

■施策ごとの評価

施策1: 公民館活動の充実

【主管課: 教育委員会事務局 社会教育課】

評価 : **B** **目指す姿に向けて概ね順調であるが、一部努力を要する。**

▶後期基本計画策定時の「現状と課題」

少子化や高齢化により、公民館活動への参加者の減少や固定化が進行する中で、より多くの地域住民が参加できる場づくりとして、地域の特色を活かした幅広い取り組みや活動を行う必要があります。

◎後期基本計画策定時の「目指す姿」

より多くの市民が公民館活動を理解し、気軽に集い、学びの場として自ら活動に参加しています。

I. 施策の取組効果や達成状況に関する分析(関連する事務事業の成果や積み残されている課題など)

【成果】

・各公民館で、学びの場としての各種講座を開催、集う機会として夏祭りや文化祭などのイベントを開催し、地域コミュニティの醸成を図った。

【課題】

・少子高齢化により、各地域では担い手不足が深刻化しており、若い世代の地域活動への参加、担い手の育成が必要となっており、今後も公民館活動の活性化のため、公民館関係者がより多くの市民の参加を促す工夫を行う。

・小中学校の再編に伴い、概ね1小学校区1公民館の体制でない地区公民館が多くなることから、公民館体制や活動について検討が必要である。

II. 今後の方向性と具体的な展開

・公民館関係者相互の情報交換や研修会を行うなど、体制の強化に努める。

・公民館長会及び社会教育委員定例会(=公民館運営審議会)において、小中学校の再編や、地域学校協働活動における公民館の役割と合わせて、今後の公民館の活動について研究を進める。

施策2: 生涯学習の拡充

【主管課: 教育委員会事務局 社会教育課】

評価 : **B** **目指す姿に向けて概ね順調であるが、一部努力を要する。**

▶後期基本計画策定時の「現状と課題」

生涯学習講座等への受講者が固定化しつつあり、また、世代によるニーズが多様化していることから、幅広い年代を対象とする講座の開催が求められています。

◎後期基本計画策定時の「目指す姿」

学びの場に参加する市民が増え、学んだことや経験を生かすことで担い手が育成され、地域社会に参画し貢献しています。

I. 施策の取組効果や達成状況に関する分析(関連する事務事業の成果や積み残されている課題など)

【成果】

・市民の学習の場として、生涯学習講座や郡上地域講座、市民が企画し講師となる市民アイデア講座を実施した。市民アイデア講座は、自らが持つ知識や技術を活かせる場として定着しており、市民の学びの成果を地域に還元することができた。

【課題】

・常連の受講生が多く、新規の受講生を増やすため、社会の様々な趣味趣向の講座や、課題解決に取り組む講座を行う必要がある。また、世代別にみると受講生の年代に偏りがあり、特に20代30代の受講生が少ない。

II. 今後の方向性と具体的な展開

・若者の活躍促進を図るため、学びの場の提供を推進する。

・社会人の学び直し(リカレント教育)や職業能力の再開発(リスキリング)を目的に、若い世代に向けた講座の情報発信を行う。

施策3:読書活動の推進

【主管課:教育委員会事務局 社会教育課】

評価 B

目指す姿に向けて概ね順調であるが、一部努力を要する。

▶後期基本計画策定時の「現状と課題」	◎後期基本計画策定時の「目指す姿」
<p>中高生の読書離れや図書館利用者の偏りを防ぐため、7館相互の連携及び園・学校との連携と、家読(うちどく)の取り組みをさらに推進する必要があります。</p>	<p>各家庭に「家読」の習慣が根付き始めることによって、中高生の読書離れに歯止めがかかるとともに、青年層や壮年層の図書館の利用が増えていきます。</p>

I. 施策の取組効果や達成状況に関する分析(関連する事務事業の成果や積み残されている課題など)

【成果】

- ・積極的な学校貸出の実施により、全市の子どもに向け平等な読書機会を提供した。
- ・乳児の3、4ヶ月検診の際に合わせてブックスタートを行い、保護者に対し0歳児であっても本に興味をもつこと、図書館には子どもの成長にあった多くの本があることを周知した。
- ・子どもを含め家族で読書をする時間を共有し、読んだ本について話し合うことで、読書の楽しさと心豊かなひとときの大切さを伝える「家読活動」を、図書館及び小中学校において周知した。
- ・小学校に向けた出前授業(ブックトーク)を実施し、様々なジャンルにわたる本の魅力や読書の楽しさを伝えた。

【課題】

- ・全世代において読書離れが進んでいることから、読書の楽しさを伝える新たな手段等を検討する必要がある。
- ・年齢が上がるにつれ、読書量が減少する子どもや全く読書をしない子どもが増えていることから、更なる家読活動の推進が必要である。

II. 今後の方向性と具体的な展開

- ・小中学校との連携を密にし、学校貸出や出前授業等を通じ子どもに読書の楽しさを広め、大人になってからも読書をする習慣の継続を促す。
- ・0歳から就園までの期間に読書習慣を身に付けるため、ブックスタート事業を継続するとともに、年齢に応じた読み聞かせ等のイベントを定期的で開催する。
- ・読書量が減少する中学生の時期に向け、図書館を活動拠点としたサークル活動、ボランティア活動の推進を図り、読書の楽しさと図書館の意義に触れる機会を提供する。
- ・園、学校の家庭教育学級等における講師派遣に協力し、積極的な家読推進を図っていく。
- ・取り組みの効果がすぐに表れるわけではないことから、長期的・継続的に取り組んでいく必要がある。

■後期基本計画策定後新たに生じた課題等	

■関連する個別計画の有無	
有	第2次郡上市教育大綱、郡上市教育振興基本計画(第3期)、郡上市子ども読書活動推進計画(第3次)